

# きんもくせい

平成26年 学校教育だより

March **3** 第320号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会  
発行・埼玉県富士見市教育委員会  
電話・049-251-2711 (内線622)

編集目標 人間尊重の教育を求めて



『めざせ 600 回!』 全校大縄大会

写真提供/勝瀬小学校

「どこまでも」

針ヶ谷小学校四年

青木 由奈

ふかれて ふかれて

どこまでも

雨になって ふりそそぎ

小川になって サラサラと

流れて 流れて

どこまでも

川になって 石をけずり

海になって どこまでも

流れて 流れて

どこまでも

空気になって 飛んでいき

くもになって 雨になる

# からだを を 楽し から

水谷中学校 教諭 秋元 康生  
教諭 薄羽 潤

水谷中学校は生徒数が全校で218名(8クラス)の小さな学校ですが、生徒たちはとても素直で、男女問わず仲良く生活しており、毎日笑い声が絶えません。そして、昨年度より「感動は挑戦と思いやりから」の学校スローガンの下、3年生を中心に、生徒活動やボランティア活動、学校行事、部活動や駅伝練習等に一生懸命に取り組んでいます。毎年9月に行われる体育祭では、閉会式の後に全校生徒がひとつの輪になって校歌を歌い、感動的な時間を過ご

## 感動は挑戦と思いやりから

「リズムに乗って全身を動かし、自分を表現しよう」平成二十四年度より、中学校の新学習指導要領が全面实施となり、保健体育科では「武道・ダンス」が必修となりました。本校では、移行期間の平成二十三年度から、「武道・ダンス」を必修で履修させ、男女ともに「柔道」と「現代的なリズムのダンス(ロックやヒップホップ)」の授業を行ってきましたが、一部の女子やほとんどの男子はダンスにあまり親しめていませんでした。そこで、開校三十周年にあたる昨年の体育祭から「水谷中学校の新たな伝統」を作ろうと、「よさこいソーラン」に全校で取り組みました。一年目は「からだを思いっきり動かし、みんなで踊ることの楽しさを味わうことや、積極的に踊りに取り組みむ中で互いのよさを認め合うこと」を、二年目の今年からは、「よさこいリーダーを中心に生徒が主体的に取り組むことや表現力を高めること」をねらいとして取り組みました。今回はその取組や授業の内容について紹介します。

しています。開校30周年を迎えた昨年度から、新たな伝統の1ページになればと「よさこいソーラン」に取り組むことにしました。

## 初年度の取組

### 【題材を選ぶ】

簡単ですぐに踊れるものではなく、中学生にとって踊り応えがあり、力強さやスピード感があるもの。からだを思いっきり動かして、全校男女がひとつになって踊ることのできるもの。そうした観点から市内の中学校でも使われた

東中学校 3年 渋谷 菜月



この時期、中学3年生は私立入試が終わり高校が決まった人と公立の入試に向けて勉強中の人の2つに分かれます。私は公立の入試に向けて勉強に励んでいます。授業は公立入試を意識した問題演習などが多くなりました。私は私立入試が終わった後、私立単願の人はこれか

## 受 験

ら勉強をしなくてもいいんだと思っていましたが、それは違うということに気付きました。私立単願の人も一緒に公立入試向けの問題を解いてくれます。自分の入試が終わったからと授業中うるさくなることもありません。私はそんな友達に感謝しながら、自分の希望する進路に向けてがんばっていきたいです。



初めはビデオ映像を見ながら振り付けをコピーしました。よさこいリーダーたちは初めての日取りに戸惑いながらも、覚を持ち始めました。2学期に入る前には最後まで通して踊れるようになり、かけ声もマスターしました。

### 【振り付けを伝達する】

1学期に数時間だけ、基本的に振り付けを予習し、本格的には2学期の体育の授業で、各クラス5〜6時間ずつ、リーダーを中心に練習しました。(グループは各クラス男女別)



わかる授業

=中学校体育=

# 思いっきり動かす

- (1) ラジオ体操
- (2) かけ声の練習
- (3) 全体練習（部分練習）
- (4) グループ練習（教え合い）
- (5) 全体練習（通し練習）など

かけ声練習は、恥ずかしさを吹き飛ばし、元氣にからだを動かすのに大きな効果がありました。グループ練習では、振り付けのよくわからない生徒に、よさこいリーダーが教えてくれました。全体練習では、よさこいリーダーを集団の前後に配置し、他の生徒の手本になってもらいました。

### 【動きを整える】

各クラスの隊形と並び順が決まったら、動きや高さを揃え、隊形の変換（長方形、V字型、フィニッシュ隊形）の練習をしました。フィニッシュ隊形は教師が基本形を決め、各クラスのリーダーがアレンジしました。

3年生リーダーの提案でオープニングにクラス旗を持って各隊列の間を駆け巡る動きを加え、演技を完成させました。

### その他の取組

## 特別支援教育

### たんぼぼ学級の一日

水谷東小学校 教諭 小林 秀人

特別支援学級「たんぼぼ学級」の三名の児童が、今日も元氣に通学班の仲間と一緒に登校して来ました。

朝の会の後は、いつも運動をします。音楽に合わせて走ったり、縄跳びや跳び箱をしたりします。

国語や算数の時間には、個別の課題に応じた学習を行います。理解を助けるためにブ

ロックやタイルを使ったり、プリントを使ったりしながら、少しずつ段階を追って力を付けていけるようにします。

時間割の中に、「たんぼぼ」という時間があります。畑で野菜を育てたり、買ひものの練習をしたりと、様々な学習を通して生活に必要な力をつけていきます。

児童の実態に応じて、体育

様々な経験を重ねながら、たんぼぼ学級の児童が主体的に生きる力をつけていけるよう、取り組んでいます。



### 2年目の取組(実践と成果)

- (1) 夏休み練習の指導の多くを3年生に任せました。1年生に丁寧な教えてくれました。
- (2) 大きく隊形移動しながらの流し踊りに取り組みました。
- (3) オープニングとエンディングに各クラス代表の旗振りで彩りを加えました。
- (4) 各クラスに任せたフィニッシュ

選挙」と称して、2学期当初の放課後に、センターポジションを決める選考会を開きました。リーダーの自覚を高めるためには効果的な取組であり、各クラスの隊形は彼らを中心に決定しました。

### 終わりに

本校の新たな取組は多くの方々に支えられて実現しました。生徒たちは一生懸命に取り組む姿でそれに応え、大人たちに感動を与えてくれます。来年度はどんな取組を取り入れようか、今から楽しみです。

指導・講評  
水谷中学校校長 小野寺 巧

今年度の「よさこいソーラン」は、昨年度の躍動的で統制のとれた踊りに加え、カラフルな旗が振られ、大きな波のように集団が移動し、最後には各学級が独創的なフィニッシュ隊形をつくるなど、表現力の点で格段に進化していました。

「中学生が秘めている力はすごいですね。指導された先生もすごいですね。」

ご覧になった地域の方からいただいた言葉です。来年度の「進化」が楽しみです。

### 農業は魅力ある仕事

勝瀬中学校 P.T.A会長 横山 政幸

「農業は魅力ある仕事だよ」  
小学校の四年生か五年生の頃に父親の畑仕事にくっついて行き、畑仕事を終えた父親が帰りの軽トラックを運転して家へ帰る道すがらつぶやいた言葉です。その頃「魅力」の意味さえまだあまりよく理解していない自分にとつて、この言葉がその後の大きなキーワードとなります。

私の家は代々、野菜・お米を生産する専業農家で、家に残る古い書を見ると江戸時代の元禄年号の書きつけが残されています。小さなころから遊び場は家の庭か畑、田んぼでした。父親の運転するトラクターの座席で膝の上に乗し、畑を耕す作業を間近で体験し、生産物を運ぶトラックに乗り市場へついでに行きました（帰り道に買ってもらおうジュースやアイスが目当てです）。  
時がたち、自分自身の進路について岐路に立った時、いつも先のキーワードが頭の中にありました。そして迷わずに家業である農業に従事し、今に至ります。



現在はふじみ野駅ができ、周囲の環境は大きく様変わりしました。「家業を継いでほしい」簡単に言える状況にはありません。しかし、今、自分の子供たちを膝に乗せてトラクターを運転しながら「農業は魅力のある仕事だよ」三十年以上前に父親から聞いた言葉を自分なりの思いを込めて子供たちに伝えて行きたいと思うのです。



### 「鼓笛隊」

南畑小学校

南畑小には、市内唯一の鼓笛隊があります。毎年十二月に行う引き継ぎ式により六年生から五年生に引き継がれており、来年度の六年生は第五十三代目になります。引き継ぎ式が終わると五年生は、二月の受け継ぎ式までに、昼休みを中心にして六年生から演奏の仕方などを教わり曲を完成させます。六年生のパートリーダーを中心にパート毎に、譜読みから練習計画まで、自分たちで考え行っています。六年生は五年生の上達ぶりを認め、五年生は六年生から教わることで、上級生に対する尊敬の気持ちをもつようになります。教師はこの間、進み具合の確認と声かけ、時には相談に乗りながら、より自主的に取り組めるように見守りまします。今後は、学校や、地域のいろいろな行事で演奏することとで、一つのことをやり遂げる責任感を身につけていきたいと思います。



す。南畑小学校では鼓笛隊の活動を通して、自立できる子どもへの育成を目指しています。

# はぐくむ

～学校・家庭・地域から～

### 小さな成功体験

西中学校 保護者 鈴木 和花子

私は思います。我が子に、続けられることをもってほしいと。それは、後に大きな力となると思っています。  
その思いと、運動への苦学意識の克服にと始めることになったのが、空手でした。半ば強引に始めさせたので、予想通り、不満が出てきました。もう少し、もう少し。と、とりあえずやっているような状態が続いていました。

そんな彼女の気もちを変えたのが、初めての練習試合でした。その試合で、まさかの一勝。彼女の目の色が変わりました。「勝ちたい」「負ける気がしない」と。本気になった瞬間でした。  
一瞬のうちに気持ちが変わり挑んだ試合で勝利を収め、初めての一番を手に入れることができました。  
これが彼女にとつて、小さ



な成功体験となり、今でも続けられている原点となつていくのだと思います。

人のやる気は、達成や承認などの動機付けの要因により上がると言われています。成功体験は、その一つであると言えるのではないのでしょうか。「続ける」ということは、そう簡単ではないと思います。目標達成は勿論ですが、そこに向かう過程も大切であり、大事にしたいと思っています。自信につながる続ける力を信じて。



### 運動好きな児童をめざして

鶴瀬小学校

「かけ足跳びができるようになったよ。」「さか上りができるようになったよ。」「タイヤ跳びが前より早くできるよになったよ。」「鬼ごっこで思いつきり走るの、おもしろくなったよ。...と、休み時間には進んで校庭に出て鉄棒や縄跳びなどで楽しそうに遊んでいる児童の姿も多く見られるようになりました。今年度、本校では「粘り強

く取り組める児童の育成、運動の楽しさやできる喜びを味わわせ、運動好きな児童の育成」を研究主題のもと、全教職員で研究を進めています。毎月四回の「体力づくり」では、全校で「鶴つ子体操」を準備運動として行い、ジーンズカンの曲に合わせて「リズム縄跳び」を頑張っています。最初は長く跳べることができなかつた児童も回数を重ねる



につれ、自分のめあてをもち、それを達成しようとする努力する児童が多くなりました。さらに運動好きな児童の育成に取り組んでいきます。

## 教育課題特集

# 生きる力を

### 交流会で得たもの

富士見高校 川上 奈歩

私は、つるせ台小学校との交流会に初めて参加しました。交流会では、二年一組を担当しました。普段、小学二年生の子どもたちと接する機会がないので最初はみんなと仲良くなれるか、とても不安でした。けれども、教室に着いてすぐその不安は消えました。みんなが私の存在に気付き、名札を見て名前を覚えようとしてくれたからです。私は、そんなみんなと早く仲良くなりたいと思いました。私がみんなと過ごした時間の中で一番印象に残っているのが、音楽の授業でした。音楽の授業では最初にみんなが歌を歌いました。みんなが楽しそうに大きな声で歌う姿がとても可愛く感じられました。そんなみんなを見てみると私もつられて笑顔になりました。子供たちの歌が友達と手遊びする歌だったので、私も参加して教室中を動き回って手遊びをしました。次に、鍵盤ハーモニカを弾く練習をしました。みんな一生懸命に練習して完璧に弾け

た時は私も嬉しくなりました。つるせ台小学校との交流会は、とても楽しくて一日が本当にあっという間でした。私は将来保育士になるのが夢ですが、その気持ちが一層強くなりました。来年もこのような機会があれば、また参加したいと思いました。





音楽朝会

水谷小の音楽朝会は、各学年の発表も行っています。「笑顔がいいね」の歌を、1年生がかわいらしい踊りをつけて発表しました。見ている皆、自然と笑顔になっていました。

水谷小

今年度も終盤を迎えた。この一年間、学校では、子どもたちに、「生きる力」を育むため、様々な教育活動に取り組んできた。豊かな活動を行うためには、地域の力が不可欠である。地域のお年寄りを招いての昔遊び、伝統文化の体験、施設見学、読み聞かせ、習字やミシンの指導の支援、安全の見守り、温かな応援など。子ども達の笑顔が輝き、真剣に取り組む姿がたくさん見られた。学校応援団に登録して、活動をしてくださる方も増え、感謝の気持ちでいっぱいである。ともに一年を振り返り、子ども達に新たな意欲を持たせ、平成二十五年度を締めくくりたい。



ふじみ野小

自分の力を出し切ってゴール！

ふじみ野小では11月の持久走大会に向けて、業前のいきいきタイムを含め、各学年学級で練習に取り組んできました。子どもたちの走る姿には、その成果が十分に表れています。



水谷中

小中連携・防災教育本発表を終えて

「生き抜く力をもつ子どもの育成」をテーマに、水谷東小学校と共に発表を行いました。地域の方々にも多数参加していただき、いざという時に備える事の大切さを学びました。



富士見特別支援学校

シアターギミックさんによる新春コンサート

木琴の温かい音色や太鼓の力強い音など、打楽器の魅力を存分に味わうことができました。子どもたちが楽しむ様子から、改めて音楽の持つ力は素晴らしいなと感じました。

II 市教育相談室よりII

『教育相談Q&A』

Q 「あすなる」ってどんな活動をしているの？

A 本市適応指導教室「あすなる」では、一年を通して様々な活動を行い、学校に行きたいけれど行けない児童生徒の支援をしています。今回は、主な支援内容について紹介します。

居場所提供

子ども一人ひとりが存在を認め合うことができる安心安全な場を提供します。

適応指導

日々の生活を通してコミュニケーション能力や対人関係作りなど、集団の中で適応できる力を育みます。

学習活動

本人の意思や意欲、習熟度など、個々の状況に合わせた学習支援を行います。

体験活動

自然体験、社会体験、生活体験、行事・レクリエーション体験などの活動を行います。

特に体験活動は、子どもたちにとって欠かせないものです。

『自然体験』：田植え、稲刈り、びん沼自然公園散策など

『社会体験』：避難訓練、給食センター見学・試食会、遠足など

『生活体験』：調理実習、清掃活動など

『行事・レクリエーション体験』：市民体育館での運動、宿泊体験、餅つき、通室証書授与式など

このような体験活動を通して、子ども





鶴瀬小

鶴っ子もくもく清掃

「もくもく清掃」に取り組んでいます。歴史のある学校ですが、心をこめてきれいにしようと頑張っています。ピカピカになると、すっきりして、笑顔になります。



南畑小

糸車体験学習

地域の方に名人(指導者)として来ていただき、糸車、七輪、米作り等を体験し、子どもたちは達成感を味わっています。体験を通して、ふるさとの伝統を継承しています。



つるせ台小

保護者・地域と共につくるつるせ台小まつり

11月16日(土)にPTA、地域子ども教室、青少年育成会議と連携を図り、「つるせ台小まつり」を実施しました。当日は、児童保護者等514名の参加で大賑わいでした。

# 学校



本郷中

駅伝からロードレース大会になりました!

これまで行われてきた校内駅伝大会をロードレース大会に変えました。晩秋の新河岸川の川堤を女子4.9km、男子5.5km、全員が気合を入れて完走しました!!



富士見台中

狂言ワークショップ

11月25日(月)に2年生が、キラリ☆ふじみ主催による狂言ワークショップを行いました。狂言の所作の体験、『附子』の観賞など、日本の伝統芸能の奥深さを学ぶことができました。

## おすすめの本



「図書館のトリセツ」講談社

福本友美子・江口絵里・作  
スギヤマカナヨ・絵

「トリセツ」とは「取りあつかい説明書」の意味です。図書館の正しい取りあつかい方を楽しく知るための本です。

あなたも図書館マスターに!

もたちはありのままの自分を表現したり、互いに折り合いをつけたりしながら、育ち合うことを学びます。やがて子どもたちは自信がつくとともに、集団の中で生きていくためのエネルギーが満たされ、生きる力の土台を再構築したり、学校復帰や社会での自立に向けたスキルを獲得したりしていきます。

お子様のことで心配なことや、不安に思うことがありますら、学校または本室にお問い合わせください。

(問合せ) 富士見市教育相談室  
TEL 049-253-1531

# 教育委員会だより

## 平成26年度から夏休みを短縮し、 教育活動を充実させます

充実した教育活動を行うため市内全校の普通教室及び一部の特別教室にエアコンを設置し、暑さ対策等の学習環境が整ったため、平成26年度から、小・中・特別支援学校の夏休みを1週間短縮し、2学期のスタートを8月25日とします。

小学校では、授業時数や発展学習の時間を増やす等、きめ細かい指導を行う時間が生まれ、基礎・基本の定着、確かな学力の定着を図ることが期待されます。

中学校においては、今まで以上に教科の授業時間を確保し、基礎・基本を定着させ、学力の向上を図ることが期待されます。

特別支援学校においては、今まで以上に、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた日常生活の指導や教科別の指導、自立活動、作業学習など、教育活動の充実が期待されます。

また、各学校ともに児童生徒の主体的な活動である児童会・生徒会活動や委員会活動、クラブ活動や体験活動、学校行事などの充実も期待できます。

なお、夏休みの短縮に伴い、給食提供の回数も増やします。

### 平成26年度富士見市立小・中・特別支援学校入学式

期日：4月8日(火) ※2月10日現在

学校名	開式時間	入学予定者数	学校名	開式時間	入学予定者数
鶴瀬小学校	10:30	102名	ふじみ野小学校	10:45	122名
水谷小学校	10:30	92名	つるせ台小学校	10:40	90名
南畑小学校	10:45	40名	富士見台中学校	9:30	182名
関沢小学校	11:00	86名	本郷中学校	9:45	149名
勝瀬小学校	10:40	104名	東中学校	9:50	89名
水谷東小学校	11:00	54名	西中学校	9:15	165名
諏訪小学校	10:50	105名	勝瀬中学校	10:35	309名
みずほ台小学校	11:00	94名	水谷中学校	9:15	70名
針ヶ谷小学校	10:45	57名	富士見特別支援学校	10:20	11名



### 成長していく姿

本郷中学校

教諭 榎屋 貴史



水谷小卒業の生徒ではなく、本郷中学校一年三組の生徒になっていました。

体育祭の大縄練習では、一番早く並び練習を始めました。合唱コンクールでは、昼休み

練習を学年で最初に始めました。本郷中一年三組は、頑張ろうと決意した人に素直についていけないクラスになっていました。

この一年間を振り返ってみれば、担任として、ぐいぐいクラスを引っばっていった感じはありません。生徒が自分たちで頑張ろうとする姿をただ近くで見守ってきただけのような気がします。近くで見

守っていたからこそ、日常生活を大切にして生徒の姿を見つけたのかもしれない。そして、一人一人がささやかな場面で成長を見せてくれる瞬間に、嬉しさと喜びを感じてきました。

もちろん、時にはクラス内で問題が起きたり、ぶつかったりすることもありました。しかし、つねに、クラスの問題に対し、協力して取り組む姿が教室にはありました。そこでこの成功と失敗の経験を通して、個人とクラスの一段の成長が見られました。

クラスの解散まで残りわずかです。今年の経験が、力になって、来年、さらに大きく羽ばたいてくれることを願っています。

### 編集日記

十月の就学時健康診断の保護者への子育て講座では、大学の教授に「大学生から見た低学年教育の大切さ」の演題で講義をいただいた。

今の大学生に欠けるものに、「自立・自律をしていない」「自信がない」等があげられ、その原因として、「愛情や経験の不足」「目標(夢)の欠如」が指摘された。

では、何故このことが大切なのか、近くのお母さん方と話し合っていた。

「愛情や経験の大切さ」では、自信がつかない。視野が広がる。判断能力がある。思考力が深まる。失敗を恐れない。自立心や思いやりが育つ等々。

「目標や夢の大切さ」では、やる気や達成感、さらに高い目標が持てる。持っている以上の力を発揮する。人との関わりができる等、多くの事が出された。初めは、戸惑い気味であったが、徐々に共感や領感が生まれ和やかな会となった。そして、「まずは、十日間挑戦してみよう」と家庭での宿題となった。

四月月たった二月の入学説明会では、例年になく、(失礼笑)保護者のお喋りはなく傾聴していただいた。入学式の子ども達と出会うのが楽しみである。

また、講義では、全国学力調査で連続一位に迫る秋田県の実践、「学びの十か条」は、家庭との連携が欠かせないとのことであった。今後、家庭との連携における課題として考えていきたい。(忽滑谷)